



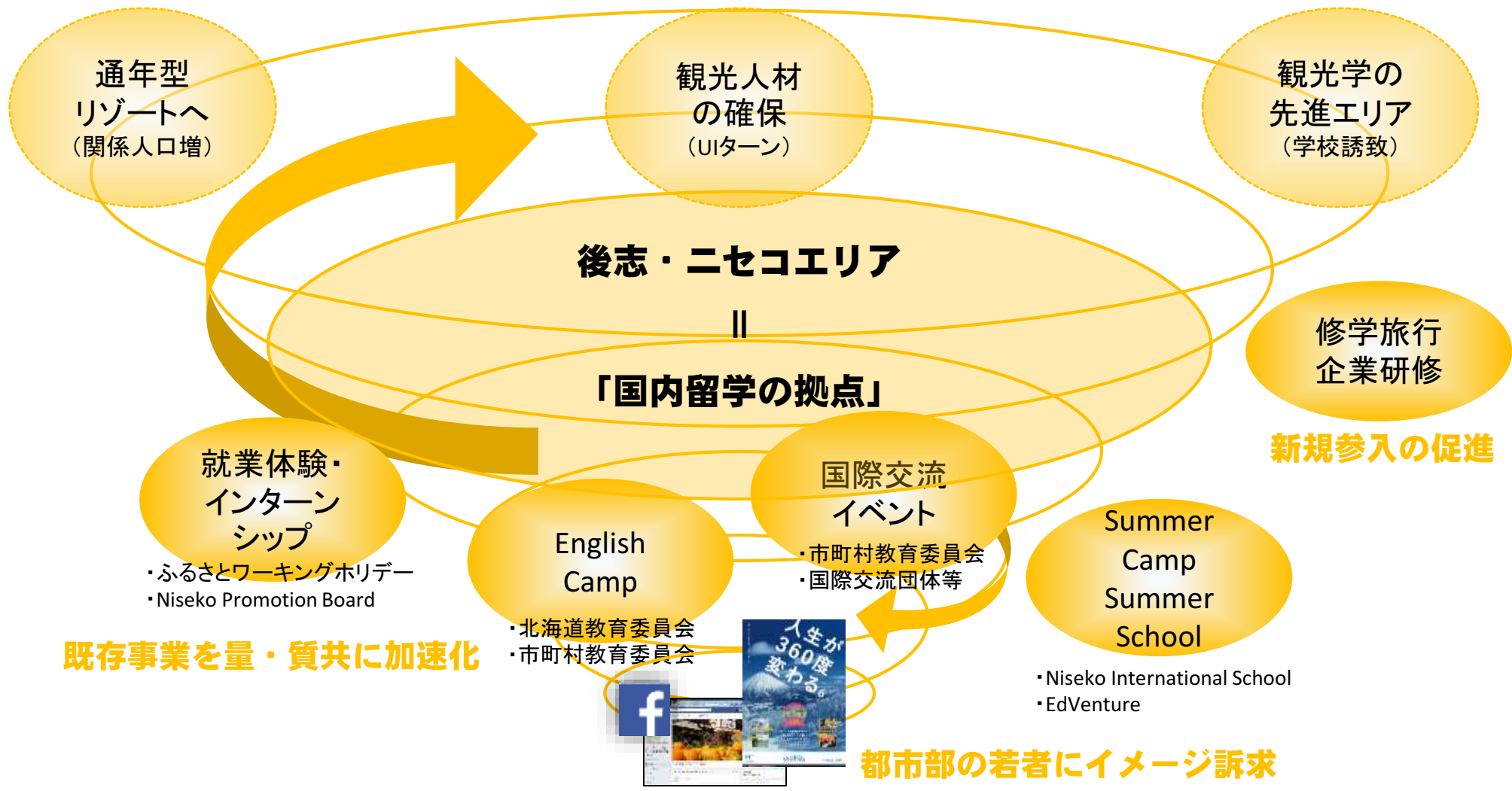
し り べ し
ShiriBeshi留学

平成30年度 事業報告書
H31.4 北海道後志総合振興局地域政策課



事業目的・ビジョン

- ・ニセコ・ルスツ・キロロ・岩内などリゾートエリアをはじめ、多くの外国人観光客や外国人住民が多い後志の地域特性を活かし、「英語トレーニング(研修・就業体験・国際交流等)」×「地域でのアクティビティ」をパッケージとした各種事業の総称を「ShiriBeshi留学(通称:ニセコ留学)」として打ち出す。(※振興局主催の事業に限定しない)
- ・振興局では、後志で人を育てる「グローバル人材育成プラン」の一環として、管内外に対して、取組をキャンペーン的に打ち出し(ポスター・FB等)、後志・ニセコエリア＝「国内留学の拠点」として認知されることにより、新たなニーズを掘り起こし、既存事業の加速化や新規参入の促進を目指す。
- ・また、その結果、夏の観光のグレードアップや観光人材の確保(UIターン)、観光学の先進エリアとしての発展(学校誘致?)等も期待。





都市部の若者

観光・英語・地域づくり等を専攻する学生や
ワーキングホリデー前後の若者

- 世界的リゾートエリアで働いてみたい
- 英語を使った仕事をして、スキルアップをしたい
- 将来、観光や地方創生に関わる仕事がしたい

リゾート企業等

- 繁忙期に人手がほしい(短期ニーズ)
- 優秀な若い人(特に日本人)と接触機会を増やし将来の人材確保になげたい(中長期ニーズ)

参加期間(1ヶ月～)

契約

インターンシップ
(有給・無給)

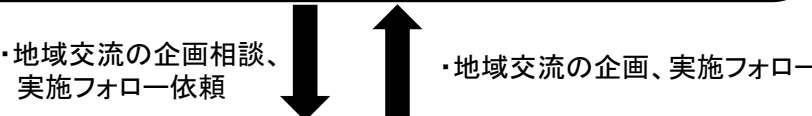
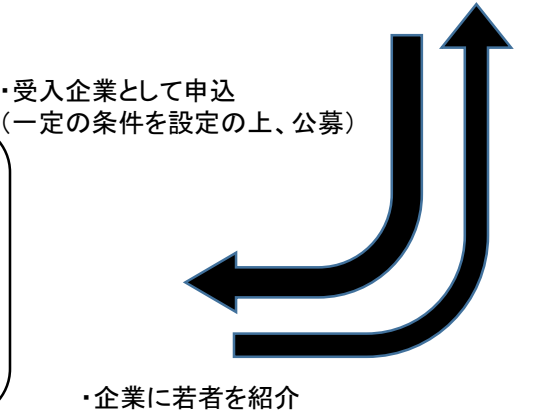
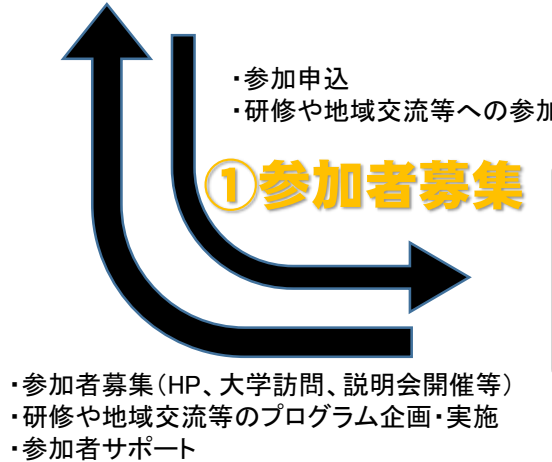
就業体験機会提供
+
給与・宿泊場所・食事等
(※条件は企業によって異なる)

北海道後志総合振興局

- 「後志は、インバウンド先進地であり、国内留学の拠点」としての認知度を道内外で高めたい
(その結果として、地域に残ったり、将来、外から集まる人材を増やしたい)

市町村

- 地域の魅力を知ってもらい、ファンになって欲しい
(将来の移住・定住・就職を期待)



過去 6 回開催、累計143名が参加

H28冬

H29夏



1 期 (1 名)



2 期 (3 7 名)



3 期 (1 0 名)

H29冬

H30夏

H30冬



4 期 (3 8 名)



5 期 (1 8 名)

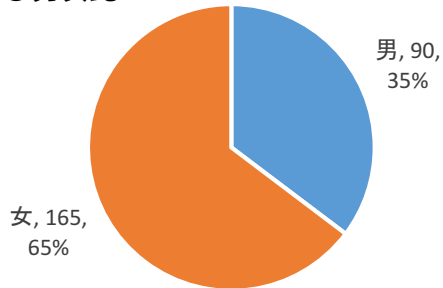


6 期 (3 9 名)

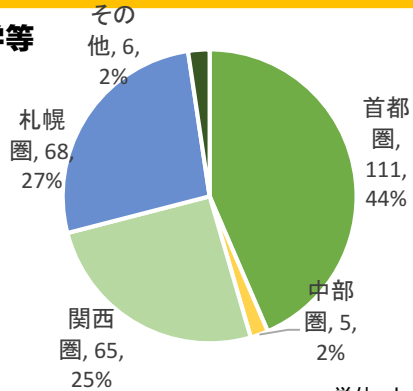
応募者・参加者属性 (1-6期生累計)

応募者 (累計 255名)

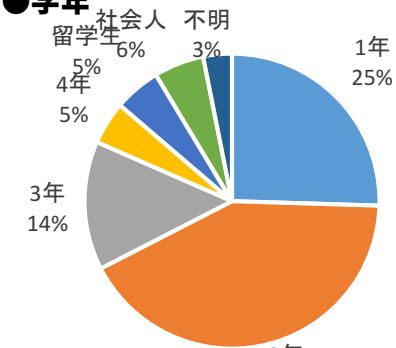
●男女比



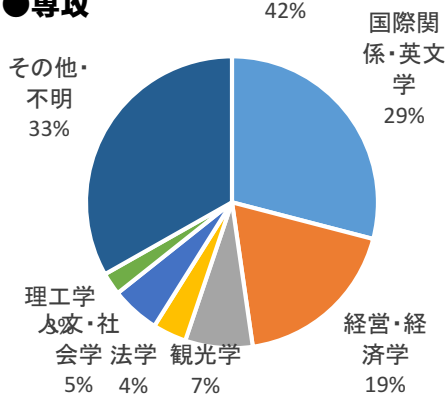
●大学等



●学年



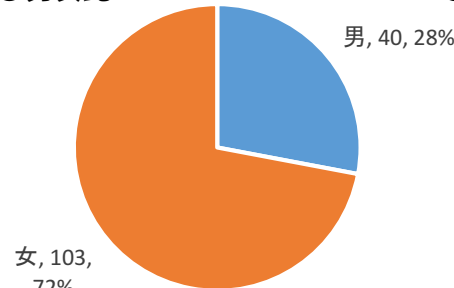
●専攻



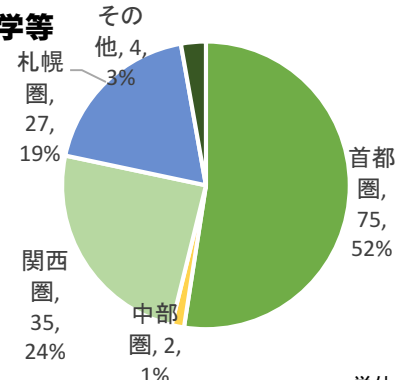
圏	大学等	人数
首都圏 (111)	法政大学	64
	東洋大学	19
	埼玉大学	3
	明海大学	3
	立教大学	3
	麗澤大学	2
	他	13
	社会人	4
中部圏 (5)	名古屋学院大学	2
	他	2
	社会人	1
関西圏 (65)	関西外国語大学	39
	関西大学	10
	京都産業大学	3
	他	6
	社会人	7
	社会人	7
札幌圏 (68)	札幌学院大学	31
	北星学園大学	19
	北海学園大学	11
	北海道教育大学	2
	光塩女子短期大学	2
	他	2
	社会人	1
その他	他	6

参加者 (累計 143名)

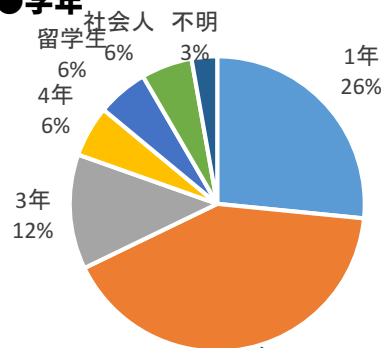
●男女比



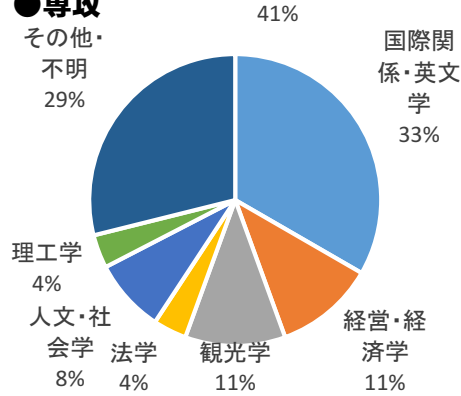
●大学等



●学年



●専攻



圏	大学等	人数
首都圏 (76)	法政大学	39
	東洋大学	16
	立教大学	3
	埼玉大学	2
	明海大学	2
	麗澤大学	2
	他	8
	社会人	3
中部圏 (2)	名古屋学院大学	1
	愛知県立大学	1
関西圏 (36)	関西外国語大学	21
	関西大学	8
	他	4
札幌圏 (68)	社会人	2
	北星学園大学	13
	札幌学院大学	7
	北海学園大学	5
その他	他	4

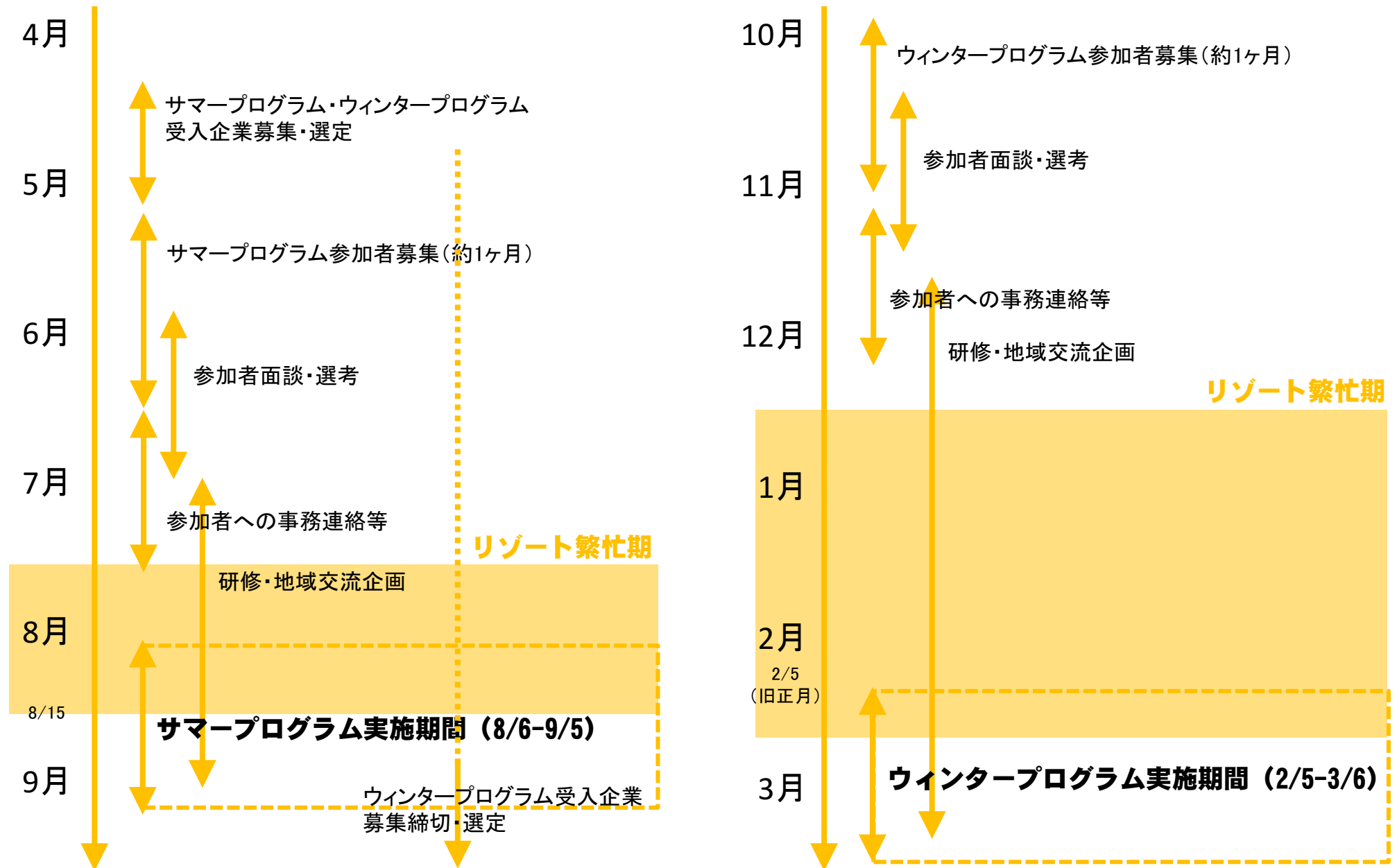
参加者就業先 (1-6期生累計)

累計受入企業
35社

市町村	企業名	業種	受入人数	合計
小樽市	利尻屋みのや	小売店	2	3
	ホテルノルド小樽	宿泊施設	1	
ニセコ町	ニセコヒルトンビレッジ	宿泊施設	11	22
	LODGE MOIWA 834	宿泊施設	4	
	甘露の森	宿泊施設	4	
	アンヌプリロッジ	宿泊施設	2	
	Japan Powder Connection	スキーガイド	1	
留寿都村	ルスツリゾート	スキー場	11	11
倶知安町	HTM	宿泊施設管理	18	92
	MnK	宿泊施設管理	7	
	ニセコマネージメントサービス	宿泊施設管理	5	
	ニセコリアルエステート	不動産販売	1	
	東急リゾートサービス	スキー場	8	
	杏ダイニング	飲食店	12	
	Musu	飲食店	8	
	Niseko Concierge	飲食店	5	
	Tatsumi	飲食店	2	
	NISEKO SAKURA	飲食店	2	
	雪庭	飲食店	2	
	ニセコピザ	飲食店	2	
	浪花亭	飲食店	1	
	池内システムサービス	清掃業	2	
	Niseko Promotion Board	マーケティング	1	
	サツドラ	小売店	1	
	Gorilla Niseko	小売店	1	
	ファーストキャビン	宿泊施設	6	
	ペンショングランパパ	宿泊施設	2	
	シャレーアイビー	宿泊施設	1	
	ニセコパークホテル	宿泊施設	1	
	第一会館	宿泊施設	1	
	冒険家族	宿泊施設	1	
日本ハーモニーリゾート	スキーガイド	2		
岩内町	YukiKamui	スキー場	3	3
赤井川村	キロロアソシエイツ	スキー場	5	11
	キロロホテルズ	宿泊施設	6	



H30 年間実施スケジュール



8/6-7
(1-2日目) **・事前研修** 1日目10:00~16:30、2日目10:00~16:00 @振興局



「国際リゾートで働くこと」
(ミス(株)丸谷氏講話)



同期の仲間と1ヶ月の目標を
共有するワーク



ベン・カー氏講話
(株)ニセコリアルエステート社長



地元の人と一緒に
地域課題を考えるワーク

8/23
(18日目) **・地域交流 in ニセコエリア** 09:00~19:00 @ニセコ高校、ニセコ町中央倉庫群、倶知安町役場他



リゾートのゴミ処理施設を見学
(塚越産業(株))



ニセコ高校生と高橋牧場で
一緒にランチしながら交流



ニセコ町の国際交流員・
地域おこし協力隊と交流



地元の経済人らによる「有志の会」
主催屋外BBQ

8/24
(19日目)

・地域交流 in 赤井川村 13:30～16:00 @赤井川村役場



赤井川村赤松村長の講話

地域おこし協力隊の鈴木さんと意見交換



定番の山中牧場ソフトクリーム実食！

9/5
(31日目)

・事後研修 10:00～17:00 @振興局



1ヶ月の経験を振り返り
同期のメンバーでシェア



ワールドカフェで
ワクワクやモヤモヤを洗い出す



未来に向けた宣言



終了証書を持って記念撮影

2/4
(初日)

・事前研修 10:00～16:30 @ 振興局



同期となる仲間に、過去の自分をさらけ出し、これからの未来を共有する



最後には全員で目標を宣言！

2/21
(18日目)

・地域交流 in ニセコエリア① 09:30～15:30 @ニセコ町民センター、倶知安農業高校



ニセコ町片山町長講話



地域おこし協力隊4名、
国際交流員2名と交流



海外留学、ワーホリ、就職、移住・・・
それぞれのテーマで語り合いました¹⁰

2/21
(18日目)

・地域交流 in ニセコエリア② 09:30～15:30 @ニセコ町民センター、倶知安農業高校



倶知安農業高校の生徒からプレゼン



東京、海外、ニセコと飲食業界を経験し、
小樽でUターン起業した中源さん講話



その後は、高校生とともに
キャリアを考えるワークを実施

3/6
(31日目)

・事後研修 10:00～17:00 @振興局



研修ファシリテーターは、
GiFT木村氏



自分はShiriBeshi留学
で何を得たか



同期の仲間と共に
振り返る



地元の人と共に
ワールドカフェで地域について考える



参加者の就業現場の様子

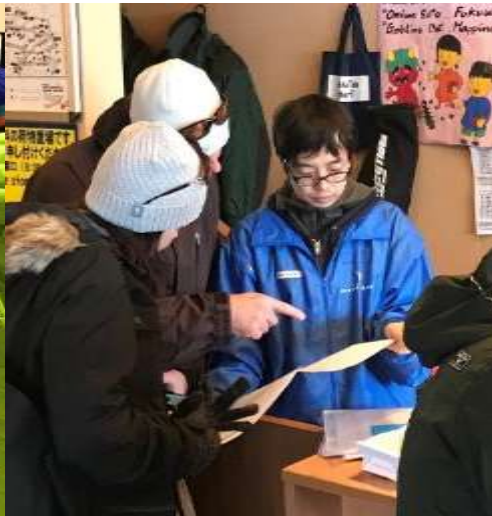
● LODGE MOIWA 834

(ホテルのレセプション)



● 東急リゾートサービス

(ウェルカムセンターでの接客)



● 杏ダイニング

(レストランでのホール、バーテンダー)



● HANAZONO リゾート

(スキースクール運営等)



● HTM

(イベント運営、地域情報誌・サイト運営)



● IWANAI RESORT

(スキー場運営、イベント企画)



● 利尻屋みのや

(商品企画～製造～販売)



●R.Mさん(関西大学2年・女性・炉ばたにせこ浪花亭勤務)

「世界中からお客様がやってくるため、英語が話せるだけでは不十分だとも感じました。一緒に働いた外国人スタッフも3言語ぐらい話せる人ばかりだったので、英語+αが求められると思います。」



●S.Hさん(関西外国語大学・女性・musu勤務)

「英語を使って働いてみたくて、海外インターンを検討していましたが、費用がとてもかかることが分かりました。そんな時に見つけたのがニセコ留学でした。」

●N.Sさん(北星学園大学・女性・スカイニセコ勤務)

「マルチカルチュラルな職場だったので、仕事に対する考え方の違いを知りました。外国人のスタッフは、ワークライフバランスの考え方が浸透しているように感じました。」



●S.Iさん(麗澤大学・女性・杏ダイニング勤務)

「海外から来ているスタッフの方と同じ寮だったので、1ヶ月間だけでしたが、すごく仲良くなりました。皆さんフレンドリーで、時にはそれぞれの国の料理を作って振舞ってくれたり、リビングに集まってパーティーをしたりしました。」

●K.Kさん(一橋大学・男性・ペンショングランパパ勤務)

「仕事の空き時間には、本来の参加目的であった卒論の調査に充て、地域のキーマンや住民、観光客などにヒアリングして歩きました。お蔭で無事に卒論を書き上げることができ、本当に感謝しています。」



●T.Sさん(北海学園大学・男性・アブソリュートニセコ勤務)

「オフの日は、全国から集まった同期の仲間との交流を楽しみました。同期の存在は、本当に心の支えになりますし、海外や英語など共通の話題で盛り上がり、いろんな価値観を知ることができ、視野も広がりました。」



参加者のアセスメント分析結果 (1-6期生累計)

※事前研修 (Before) と事後研修 (After) にて、参加者から取ったアセスメントを基に外部コンサルタント (一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト、GiFT) が分析

「メタ認知」

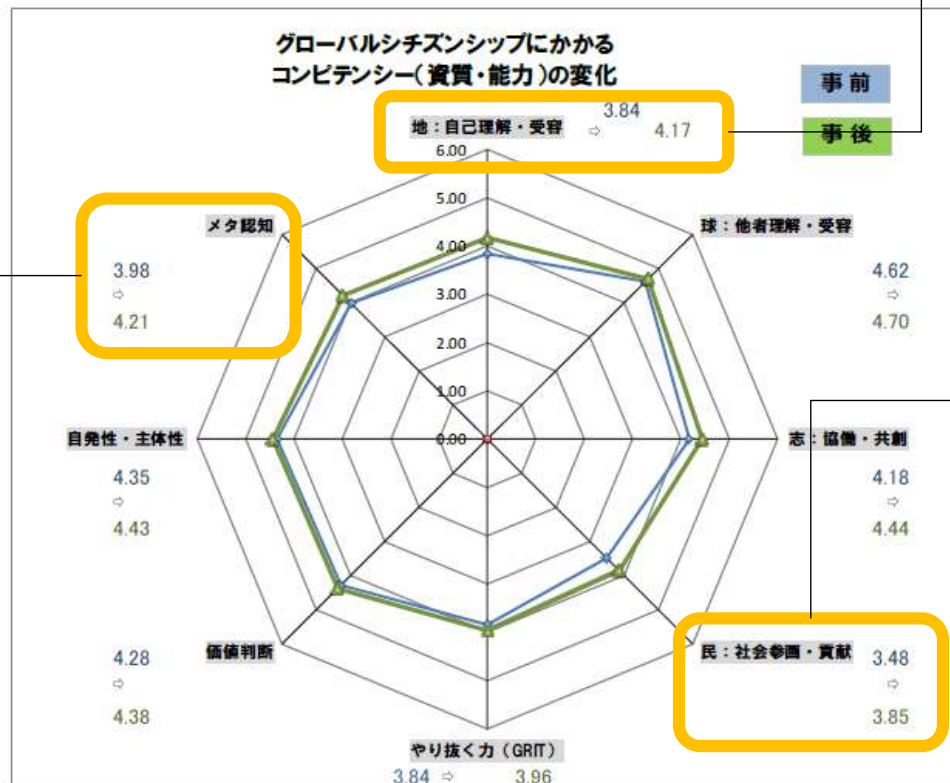
自分を客観的に俯瞰し、特徴や他者からどのように見られているか認識する力

→ 海外留学と同様の経験

「自己を知り、受け入れる」

自分の文化・習慣・価値観と向き合い、自分をより深く、受け入れていく能力

→ 海外留学と同様の経験



「社会に参画し、還元する」

自分と地域社会との関わりに対する認識や周囲や社会に対して貢献しようという意欲

→ 海外留学では得づらい
地域社会、社会貢献との繋がり

海外に行かずとも留学などで得るような体験ができ、
留学にはない地域社会、社会貢献との繋がりが生まれる

●モイワリゾートオペレーション（宿泊業）



「非常に優秀で飲み込みも早く、仕事も正確だった。またムードメーカーとなって他のスタッフとも一緒に仕事をする事を楽しんでくれたので、本当に良かった。」

●利尻屋みのや（小売業）



「自社の社員の教育の一環と思っている。人に何かを教えるということは、自分がそのことをきちんと理解していなければいけない。」

●ザ・ニセコサプライカンパニー（飲食業）



「外国人スタッフが多い中、日本人を受け入れることは、接客の仕方などにもいい影響がある。また、日本人と結婚して家庭を持つスタッフもいるので、地域に人材が残るきっかけにもなる。」

●MnK（不動産管理業）



「地域社会に貢献する企業でありたい。若い内にいろいろと経験することは、可能性を広げる。将来的に、この地域に帰ってきてくれたり、就職に繋がったりしたら、ありがたい。」

●HTM（マーケティング関連業）



「語学能力を活かし、翻訳業務、通訳業務では、大きく貢献してくれた。持ち前の明るさで、イベントの手伝いや取材での通訳も、うまくこなしていた。外国人スタッフとも問題なくコミュニケーションをとれていた。」

●YukiKamui（スキー場運営業）



「地域で地道なゲリラマーケティング（ニーズ調査、営業活動等）を行い、地元の人たちに愛されるイベントを企画し、成功した。来年度以降も継続して実施していきたい。」

●地元経済人

「ShiriBeshi留学を応援する有志の会」



倶知安町内経済人有志により、会を結成(会長:古谷眞司氏、協賛企業・個人計27団体)。写真(上)は、事後研修のワークショップと一緒に参加。写真(下)は、事後研修終了後、有志の会主催の屋外BBQの様子。



●地元自治体

ニセコ町

片山町長



「若い人達にこの地域を知ってもらい、素晴らしい取組だと思う。ぜひ継続して実施してほしい。」

●事業パートナー

マイス(株) 取締役

丸谷グローバル企画室長

「後志留学に参加することで、なぜ語学を学ぶ必要があるのかを根本的に考える機会に直面する。国際的な習慣を経験することで、日本人であることを意識し、日本人として異文化間で生きることを柔軟に学び将来に繋げて欲しい。」



●HBC「今日ドキッ！」(H30.9.19)



●UHB「EXILE TRIBE 男旅」(H31.2.22から3週連続の特集)



●AERA English (2018秋冬号)



●毎日新聞 (H30.12.17)



●北海道新聞 (H31.2.28、他多数)



大学との連携 (グローバル人材育成に係る連携協定を締結)

●札幌学院大学 (H30. 3. 23)



●北星学園大学短期大学部 (H30. 7. 23)



●法政大学 (H30. 12. 26)



■連携協力事項

- (1) グローバルな視点に立った人的・知的資源の相互活用・交流連携
- (2) 地域活性化のための連携・協力
- (3) 地域課題解決に向けた政策の共同研究
- (4) 国際色豊かなまちづくりに必要な連携・協力

■振興局における連携メリット

- ①グローバル人材育成プランを推進する当局の施策に合致する
- ②協定締結により事業が広く認知され、他の大学等への広報・PRになる
- ③ShiriBeshi留学における安定的な参加者の供給が期待できる

【参加に至るまで】

△合否の連絡をもっと早くしてほしい、事前に地域や寮の詳細情報などが欲しい、という参加者からの声があった。

△企業ごとの募集要項の書き方（内容・寮）の差異により、応募数にかなりの差があった。中身が薄いところは事務局側から見た客観的な魅力など多少フォローしてもいいかもしれない。

【事前研修】

○GiFTによるファンリテーション

○事前研修にてレポート参加した学生たちのショートスピーチ

【地域交流】

○地域交流のニセコ町訪問。町長講話は30分ぐらいの長さがちょうどいい。

○地域おこし協力隊との意見交換がかなり刺さっていたように思う。

○中源さんの話も身近に感じられて良かった。

○高校生との交流は高校生側にはとくにいい影響があったように思う。

△留学生に対しては、どういう意味があるのかももう少し事前に説明すべきだった。あまり期待していなかったが思いのほか良かったという声と、目的が良く分からないという声と分かれた。

○夕方以降、飲み会ではなく、フリータイムを設けたのは疲れている留学生にとっては良かったかと。

△留学生みんなが集まる時間をもう少し増やせたら横のつながりがもっと深くなるのでは。シフト等があって基本、全員で集まることは難しいと思うので。また中間で、それぞれ感じたことや想いをリフレクション・共有する場があるとよりよいと思う。

例)地域交流を2日間で設定して、

1日目:交流・インプット(夕方はBBQ or 飲み会?)

2日目:午前リフレクション・アウトプット(午後フリータイム)とか

△地域交流を行う意義や目的を明確にして、あらかじめ参加者に伝える。色々な方が関わって準備してくださるので、機会を無駄にしないためにも。同じ活動をするのでも、意味づけをすることで捉え方が変わるはず。

【参加者フォロー】

○期間中、みんなの写真がグループLINEにアップされていたこと。仲間意識が増える、事務局がしっかりサポートしている、安心感が増える。

○参加者をみていて、事務局に寄せる信頼を感じた。

○事務局に寄せられた個別相談に対してはきちんと対応できた。

△参加者全員の就業現場を見て回れなかった。

【事後研修】

○修了証書の渡し方ときっかけシートの共有。授与とあわせて一言ずつ感想を述べることで、参加者にとってはやりきった感が増えるし、運営側にとっても事業の意味や成果を落とし込むのに良かった。

△参加者アンケートは匿名で実施した方が本音が引き出せて良い。

○打ち上げのBBQは今回も良かった。次回以降(特に夏は)設営や事前準備から一緒にできると良いかもしれない。

△BBQの途中で(お礼の挨拶もなしに)勝手に帰る留学生が多かった。

△参加者と地域の皆さんとの関わりをもう少し深くできたらなお良い。ワールドカフェの3つ目の問い「後志地域とどう関わっていきたいか」に戸惑っている子が多かった。今後、参加者と地元の人と一緒に、地域の将来を考えていけるようなプログラムになっていけると良い。

【今後に向けて】

△英語を学ぶことの意味を理解し、その先に繋がるプログラムがあればもっとこの地域の特色が活かせると思う。

次のステージへ向けて（たたき台）

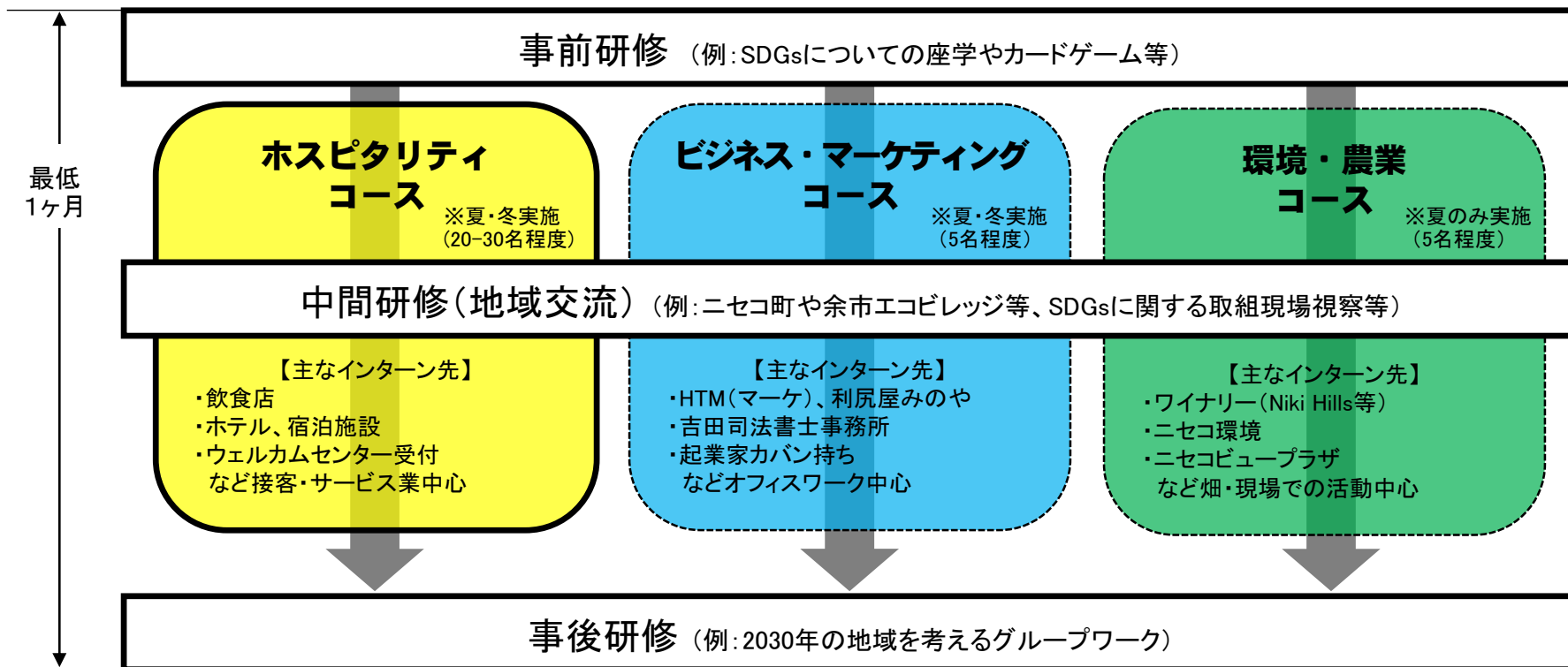
ターゲット4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

キーワード：SDGs（サステイナブル、多様性）

【背景・目的】

- ・H28の冬からスタートしたShiriBeshi留学。受入企業、市町村、地域関係者、大学等多くの協力を得ながら、計6期で143名が参加。大学との提携や各種メディアへの露出などの効果もあり、知名度は徐々に広がりつつあり、参加者も増えてきている。
- ・また、過去の参加者からは、当初は「英語力向上」を目的に参加したが、それ以上のものを修得し、地域のファンとなり、UTターンを希望する者も増えてきている。
- ・こうした参加者の声、地域・企業側の幅広い業種での受入ニーズ、地域の潜在力を踏まえ、次へのステップに移行する。基本的な目的や事業フレームは従来のShiriBeshi留学と変わらず、道内外都市部の意欲的な若者を管内に呼び込み関係人口の増大を目指す。

【基本的フレームワーク】 ※太枠は、従来のShiriBeshi留学と同じ



【ShiriBeshi留学（通称：ニセコ留学）とは】

インバウンド先進地・多文化共生先進地・SDGs先進地にも成り得る後志の地域特性を活かし、

外国語

×

仕事（インターンシップ）

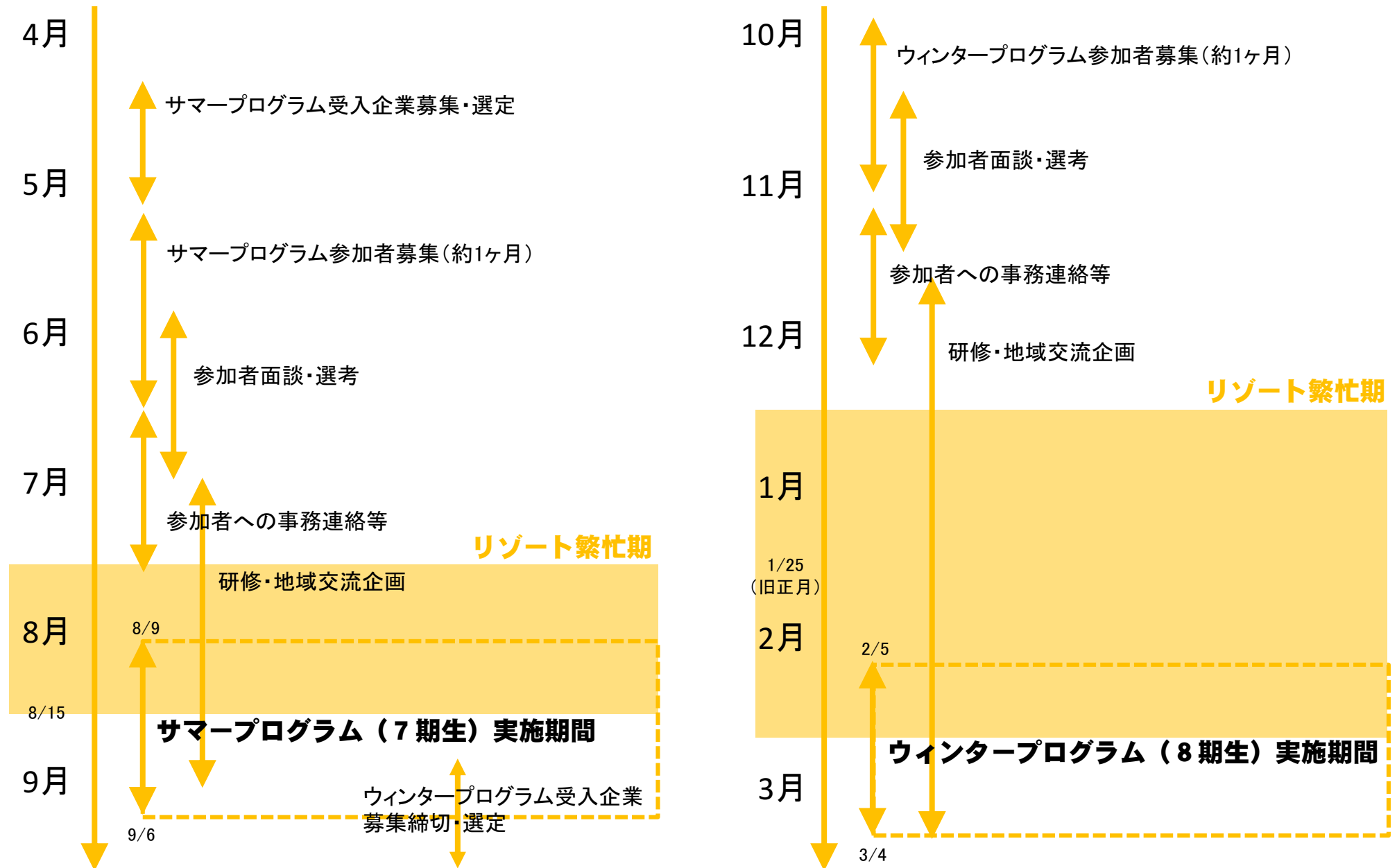
×

SDGs

を学ぶ国内留学プログラム



2019-20年度 年間実施スケジュール



●後志総合振興局公式サイト http://www.shiribeshi.pre.Hokkaido.lg.jp/ts/tss/niseko_abroad.htm



しりべし ニセコ留学

検索

- ・公開情報を更新
(受入企業募集要項、参加者募集要項等)
- ・過去の参加者の声や報告書等も掲載
- ・文字情報が中心

正確な情報が分かる

●公式フェイスブックページ / 公式ツイッター



f ニセコ留学

検索

@niseko_abroad

検索

- ・随時、関連情報を更新
(地域情報、企業情報など周辺関連情報なども含む)
- ・画像、動画等が中心

旬の情報・雰囲気が分かる